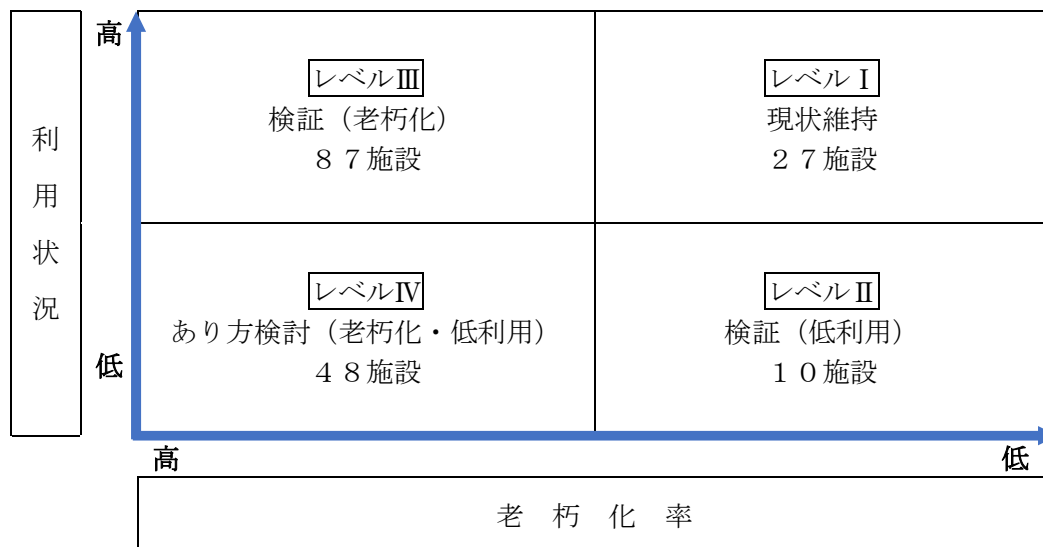


糸魚川市公共施設等総合管理指針個別計画改訂の手引き(概要)

1 改訂方針

糸魚川市公共施設等総合管理指針、長寿命化計画（同計画がある施設のみ）及び施設カルテの結果との整合性を図る。

施設カルテの結果 【各施設の分布状況】



2 具体的な検討方法(検討の方向性)

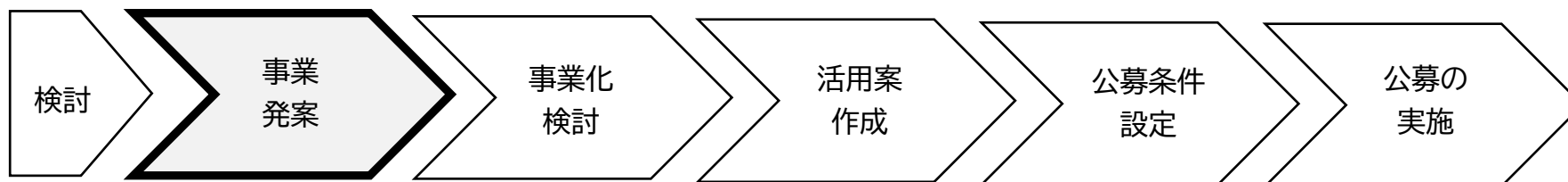
区分		内容	
継続	統合	移転	機能の類似する施設を統合(片方を廃止) → 同一機能を持つ他施設への移転
		集約	同一機能を持つ他施設を受入
		新設	機能の類似する施設を統合・新設 → 同一機能同士で新施設へ移転
	複合	移転	機能の異なる施設を集約(片方を廃止し、余剰スペースへ機能統合) → 異なる機能を持つ他施設への移転
		集約	異なる機能を持つ他施設を受入
		新設	機能の異なる施設を集約・新設 → 異なる機能同士で新施設へ移転
	転用		施設の用途変更
	大規模改修		長寿命化
	建替		施設更新
	その他		
譲渡・貸付		施設等の所有権を民間・地域等へ譲渡・貸付(有償又は無償)	
廃止・解体		施設の廃止・解体撤去	

◆サウンディング型市場調査（概要）

サウンディング型市場調査とは、市有地等の活用などの検討段階において、民間事業者等から 広く意見・提案を募集し、「対話」通し、そのニーズや利活用の可能性、具体的な活用方法を把握することを目的とする調査です。

市ではいただいた提案内容等を参考に公募条件等を精査し、利活用希望者を公募します。

【課題】 ○市や地域の活用アイデアの不足 ○民間ニーズ等に関する情報不足



民間との対話（サウンディング）

サウンディング型市場調査のメリット

- ◆中・長期的な市場動向の把握
- ◆市有地等の潜在的な可能性の収集
- ◆市の施策方針にあう公募条件の設定